

# マルチモーダル大規模言語モデルを用いた糸球体病理画像と臨床情報を統合する病理診断モデルの構築に関する研究

## 1. 研究の対象

2010年1月1日から2024年12月31日までに大阪大学医学部附属病院腎臓内科あるいは兵庫県立西宮病院にて腎生検を受けられた満16歳以上の方

## 2. 研究目的・方法

画像や言語などさまざまな情報を扱える人工知能をマルチモーダル大規模言語モデルといいます。本研究では腎生検画像や血液尿検査データなどをマルチモーダル大規模言語モデルに入力し、腎病理画像と臨床情報を統合した病理診断支援モデルの構築を目指します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2030年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2025年6月

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：腎生検画像、腎生検所見、血液尿検査データ、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、等

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

### (利用する者の範囲)

研究代表機関：大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 松井 功 (研究代表者)

共同研究機関：兵庫県立西宮病院 腎臓内科 藤井 直彦 (研究責任者)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘 2-2・D11

電話：06-6879-3857

担当：大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 松井 功

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 松井 功